

▼カヌマ点滴静注液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】セベリパーゼ アルファ (遺伝子組換え) sebelipase alfa (genetical recombination) 【分類】ライソゾーム酸性リパーゼ欠損症治療剤

【単位】▼20mg/V [10mL]

【常用量】1mg/kgを2週に1回 [3mg/kgまで増量可]

■乳児期発症の急速進行性; 1mg/kgを1週に1回 [3mg/kgまで増量可]

【用法】2週に1回, 2hr以上かけて点滴静注■希釈は最終濃度0.1~1.5mg/mLとする

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】トランスジェニックニワトリにより卵白中に産生される組換えヒトライソゾーム酸性リパーゼで、ライソゾーム酸性リパーゼ欠損症 (LAL-D: コレステロールエステル蓄積症, ウォルマン病) の酵素補充療法に用いる。特定生物由来製品。

【主な副作用・毒性】アナフィラキシー, 頻脈, 消化器症状, 眼瞼浮腫, 胸部不快感, 尿路感染, めまい, 不安, 咳, 皮膚障害など

【安全性に関する情報】蛋白製剤でありアナフィラキシーやinfusion reactionに注意 (1)

【代謝】内因性蛋白の分解経路をたどる (1)

【排泄】ペプチドやアミノ酸に分解されて排泄されると思われる (5)

【CL】30~55L/hr (1)

【t1/2】0.11hr (1)

【蛋白結合率】蛋白製剤のため該当しない (1)

【Vd】0.07~0.15L/kg (1)

【MW】約55,000

【透析性】資料なし (1) 分子量が大きく除去されないと思われ, また消失が速いので透析性は問題にならないと思われる (5)

【OW係数】資料なし (1)

【更新日】20161226

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。